



年中組だより

令和3年4月30日

うさぎ組担任 藤木 万里奈

ばんだ組担任 本間 ひかり

園庭を吹き抜ける風が心地よく、爽やかな季節になりました。進級して1ヶ月が経ち、年中組の生活のペースにも徐々に慣れ、新しく同じ学級になった友達との関わりも増えてきました。今回の年中組だよりでは、新しいことを経験してわくわくしながら過ごしている姿をお伝えいたします。

年中組って楽しいな！

ペットボトルキャップのタイヤが動く車、箱やペーパー芯の動物のお家など、自分の遊びに使いたいものを作ったり、カプラを積み高い塔や橋などを作ったりして、自分のやりたい遊びを楽しんでいる子どもたち。

年長さんから引き継いだ中型積木では、家やお店屋さん、車を走らせる道路を作っています。中型積木を使うと、安定感があって棚や机が作れたり、2階建ての家が作れたりし、自分たちだけの特別な場ができあがります！トンネルや橋も作ることができ、ペットボトルキャップの車もすいすい走ります！

友達と同じ場で遊ぶ中では、「一緒に入れて」「狭いからだめ！」「坂道にしようよ」「ここはトンネルだよ」など、一人一人のやりたいことが違い、ぶつかり合うこともあります。そのようなときは、教師が話を聞き、仲立ちをして一緒に考えながら、自分の思いを表すための言葉を知らせたり、相手の気持ちに気付けるよう言葉かけをしたりして、どうしたらよいか子どもたちなりに考えられるようにしていきたいと思います。お子さんの様子で気になることがありましたら、いつでもご相談ください。



年長さんが楽しい使い方と安全のための約束を教えてくださいました。



すごい！こんなに高くできちゃった！



すてきな自分人形ができたね！

自分の人形ができたよ！

年中組になった自分の人形作りをしました。「年少組のときには先生が作った人形だったけど、年中組になったから今度はみんなが自分で作れるんじゃないかな」と提案すると「いいね！」「やりたい！」という声が聞かれました。水性ペンで、顔と髪を描き、好きな色のTシャツとズボン、靴を選んで、のりで貼ります。Tシャツやズボン、靴にも自分の思い思いの模様を丁寧に描きました。

壁面に貼られたみんなの自分人形を見ながら、「見て見て！こんなにかわいく描けたんだよ！」「〇〇ちゃんのお洋服、すてきな模様だね」「お友達こんなにいるんだね」など、うれしそうに話す姿が見られました。

作った自分人形は、誕生表として掲示し、自分の誕生日に期待をもちながら、友達の誕生日にも興味をもったり、友達と同じ誕生日を喜んだりしてほしいと思っています。



自分だけのこいのぼり♪

園庭に主事さんたちが揚げてくださった大きなこいのぼりに興味津々で、「お空で泳いでいるみたい！」と目を輝かせる子どもたち。「こいのぼりがほしい」という声が聞かれたので、みんなでこいのぼり作りをすることにしました。

胴体は、本物のこいのぼりのように風を吸い込めるよう、画用紙を袋状に折り、糊で貼って作りました。教師の示す手順を見ながら頑張って取り組んだ子どもたち。しっかりと風が通るようになると、袋状になった画用紙を覗きながら「見て！できた！」「これでいっぱい泳ぐね！」と期待が溢れていました。

うろこ目は糊で丁寧に貼りました。風の中を泳いでも剥がれないようにと、端まで糊をしっかりと塗りながら、色とりどりのうろこを貼る様子は真剣です。

できあがったこいのぼりを持って園庭に出ると、みんな一斉に走り出しました。「見て！」「すごいでしょ！」と口々に話したり、止まっても風を受けてこいのぼりが泳ぎ矢車がくるくると回る様子を見たりして、満足そうな笑顔を見せていました。これからも、日本の伝統行事に触れたり、いろいろなものを作る中で新しい技法を身に付けたりできるようにしていきたいと思います。

持ち帰った自分だけの素敵なこいのぼりを、ご家庭でも楽しんでくださいね。



線の上を
上手に切れるよ！



こんなに貼って
きれいになったよ！



ケーキが出てきます！



誕生会がありました♪

先日、年中組になって初めての誕生会がありました。年少組のときには、それぞれの保育室で学級の友達とお祝いしていましたが、年中組では学年のみんなで、遊戯室でお祝いをします。初めての遊戯室での誕生会にわくわくの子どもたち。お誕生日のお友達のインタビューや園長先生からのお話、お家の方からのお話を聞いたり、歌や拍手でお祝いをしたりして参加しました。

誕生会のプログラムは、一つ一つ終わるたびに、裏返していくと、最後には大きなケーキが出てくる仕掛けになっています。プログラムが終わるごとに、裏返すときの「1、2の3！」の掛け声は大きくなり、子どもたちは描いてあるものがケーキだと分かったと大盛り上がり！そして会の後には、お楽しみで『ピコピコテレパシー』のゲームをやりました。

誕生会が終わって保育室に戻ると、「早くぼくの誕生日も来ないかな」と、誕生日が来るのを心待ちにするような姿もありました。子どもたちの、一つ大きくなって嬉しい気持ち、お友達のことをお祝いしようとする気持ちを大切にしながら、今後の誕生会も行っていきたいと思えます。